

【11月の活動予定】

活動日	場所・時刻	活動内容等
11月 14日 (日)	青少年宇宙科学館 9:30~ 15:30	○「宇宙のまち さいたま」フォーラム ワークショップ参加 ・青少年宇宙科学館の正門前広場で水ロケットの試射を行います。雨天の場合は、ホールにて電動紙飛行機発射台で紙飛行機を飛ばす予定です。詳細は、11月の青少年宇宙科学館のHPをご覧ください。参加は、自由です。（事務局は、正門付近にあります。）

※埼玉県は9月28日、新型コロナウイルス対策本部を開き、緊急事態宣言解除後の対応を確認しました。これを受けて、日本宇宙少年団さいたま支部では、今後もまた感染防止対策を徹底し、通常の活動ができるように活動の工夫をしてみたいと思います。但し、今後の感染状況次第では、活動が中止、延期等となる場合もありますので、活動に参加する場合は、直前に必ずHPやLINEをご確認ください。

☆科学工作「化石のレプリカをつくろう」 オルフェス分団



10月3日、団員36名、保護者等35名、計71名が参加してオルフェス分団の化石のレプリカ作りが行われました。

最初に、高後分団長から科学研究のため、昆虫や植物の標本が資料や証拠としての意義を持つことや、「化石レプリカ」の作り方を教えて頂きました。



＜化石のレプリカ＞

前半の活動では、高後分団長があらかじめ用意していた化石のレプリカに色付けを行いました。レプリカの種類は、「サメの歯、ディノニクスの爪、ホラアナグマの歯、三葉虫、



ウミユリ、アンモナイト」などです。この6種類の中から、子ども達は自分で化石のレプリカ

を選び、化石が発掘された当時の雰囲気を出すために



色の工夫を行っていました。

後半は、那須塩原産の「木の葉化石」の原石が配ら

れました。「木の葉化石」の原石は、今から約30万年前に塩原温泉付近にあった塩原化石湖に堆積した地



層のものです。

原石をよく観察するとバームクーヘンみたいに濃淡の違う層が積み重なっています。

＜木の葉化石＞

この層の色の濃いところがねらい目です。子ども達は層の境目にマイナスドライバーをあて、慎重にハンマーで原石をこつこつたたいていました。化石が見つかったと「やった。」と歓声上げて喜んでいました。4年生のAさんは、「30万年前の木の葉の化石がきれいに出てきたのでびっくりしました。」3年生のB君は「昆虫の化石が出てきたのでうれしかった。何の化石か図鑑で調べてみたい。」と感想を述べてくれました。今回の「化石の

レプリカ作り」のご指導いただきました高後分団長、リーダーの皆さんありがとうございました。



<昆虫の化石>

令和3年12月の活動予定

4日(土) 科学工作 プログラミング「ロボット相撲大会」

高学年以上 AM, PM

11日(土) 天体観望会「月と惑星」 17:30～

18日(土) 科学工作 プログラミング「ロボット相撲大会」

高学年以上 PM

25日(土) リーダー主催活動

「サイエンスショー&クリスマス会」

PM

※ 低・中学年対象のプログラミングは、2月12日(土)、19日(土)の予定です。

☆ 御 礼

今年度も日本教育公務員弘済会埼玉支部様からご支援をいただきました。ありがとうございます。

☆ 11月の星空カレンダー

5日 新月

8日 金星食(昼間)

11日 上弦

18日 しし座流星群極大

19日 満月

27日 下弦

○ 11月のできごと

- ・2013. 11. 7 若田宇宙飛行士がソユーズロケットに搭乗、ISS長期滞在へ
- ・2005. 11. 20 小惑星探査機「はやぶさ」が世界で初めて小惑星(イトカワ)に着陸&離陸に成功

○天体観望会中止のお知らせ

団員の皆様が楽しみにしておりました11月6日・7日の天体観望会(大滝げんきプラザでの合宿)ですが、コロナの感染症対策のため、今年度も中止に致しました。ご理解のほどよろしく願います。

※なお、代替措置として2月、3月に近県のプラネタリウム施設等の見学会を考えております。このまま、コロナの感染者数が減っていくことを願っています。

宇宙劇場からのお知らせ

【今後のイベント情報】

11月20日(土) 『君の星空～高校生プラネタリウム文化祭～』

10:30～「輪廻転星」浦和西高校 地学部 「和の宇宙～日本人と星～」蕨高校 地学部

14:00～「未来を照らす宇宙現象」浦和高校 地学部 「古代人が見た夜空」松山女子高校 地学部

15:30～「宇宙がつなぐもの」狭山清陵高校 演劇部

入場無料、定員200名(先着順)です。詳細は、宇宙劇場webサイトをご覧ください。

※YAC限定特別招待ではありませんので、電話での予約は不要です。